

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

ZFC新入会員の活動記録

昨年10月ZFCに入会。早いもので半年が経過しました。現役生活続行中であり、本格活動は1年半後の定年後として、出来るところから良いとの事務局の話に甘え、月2回の活動からスタートした。今回の寄稿にあたり、テーマの選定に種々悩んだが、最終的にはZFC活動は始まったばかりであり、新入会員としての自らの活動記録を書き綴ることでご容赦いただくこととした。3月の運営会で「会員数の維持の方策」が本年度の重点課題であると聞いたこともあり、拙い活動記録が本会の今後の入会希望の方々への参考にでもなればとも思い、短い半年間の活動の歩みを思いつくままに書き綴ってみることとした。

(1) 汗かきの心地良さに魅了されて

小生がZFCの扉を叩いたのは前述の通り昨年10月であった。ここ数十年来、鎌倉の尾根である天園ハイキングコースを毎週末散歩していた訳であるが、昨年10月この散歩の途中に、これはという理由もなく、ふっと思い立って観察の森センターに立ち寄り、「雑木林ファンクラブ」の問い合わせをしたことがきっかけであった。ファンクラブ自体は住まいが近隣の野七里にあり、週末の散歩で馴染みがあり、門を比較的気軽にたたけたかと思うが、親近感はあるものの、持って生まれた手先の不器用さは自他ともに認めるものであり、果たして具体的な活動ができるかどうかは不安いっぱいであった。

こうした状況下で入会を決意したのは今にして思うと、最初に紹介された友の会主催の「下草刈り」のイベントに参加したことが大きいと思う。正に「論ずるより生むがやすし」で自らが当日の参加者の皆さんと一緒に、土にさわり、草をむしる野外活動を実践したことが自らの決意の後押しを強くしたと思う。これまでの様に散歩という形ではなく、ある種の目的意識を持って、多くの仲間と一緒に、野外活動を行うこと、そしてこの活動を通じて汗しての作業から得られる清々しさはこれまでの会社生活では決して味わえないものではないかと決意した。ただし、そうは言っても生来の手先の不器用さからくる不安感は拭い難いものであり、入会申込は済ませたものの、炭焼き小屋への初日は年甲斐もなく足がすくみ、戻ろうかなという気持ちになったことも事実である

(2) 5ヶ月間の活動を振り返って

以来5ヶ月、活動は当初の予定どおり毎月2回の出席だけは維持できてきている。野外作業を通じて汗をかいたあとの爽快感は実に気持ちの良いものであった。毎回の朝礼時に当日の作業希望を申出て、雑木林の整備、竹林整備、下草刈り、炭材整備等いずれかの作業に希望してつくわけであるが、これまでほとんど使ったことのない、のこぎり、鎌、斧等の道具使いは難しく、正直、戸惑うことも多く、呑込みも悪くて、何度も同じ質問を繰り返すなど先輩会員に迷惑をかけることが多い。しかしながら、諸先輩の懇切丁寧な根気強い指導で、何とか遅れながらも、曲がりなりに、後をついていくことができているのではと感謝する毎日である。正に「習うより慣れろ」の精神で、せめて人並みのレベルに早くなりたいと思っている。昨年暮れの正月のしめ縄づくりは手先の不器用さから製作はお手上げ状態であったが、数ヶ月後の木の蔓を使っての木工細工のお手伝いが何とかできるに至った。あくまでも先輩の補助ではあったが、少しずつ「ものをつくることの喜び」を感じつつある今日このごろである。

(3) 新たな発見と多くの出会い

半年間の活動を通じての最大の喜びは多くの人との出会いと毎回の活動で得られる新たな体験である。これまでの会社と自宅の往復の生活では得られなかった新たな地域とのふれあいがZFCの活動を通して円滑に進めていくことが出来つつあると思う。雑木林等の自然保護活動を通じ、60数年このかた経験したことのない新たな体験の喜びは大きい。活動を終えて、帰宅後パソコンに向かってその日の活動で聞いた樹木、道具、草花の名前を検索して、関連知識と情報の深掘りも最近の楽しみでのひとつとなっている。

この4月から現役生活の最終年度のカウントダウンがはじまった。新たな人生のスタートに向かい、ZFCの活動を柱に第二の人生設計を描いていきたいと思っている。

加藤 琢也

1. 3～4月の活動報告

- ① 3月27日(土)晴 30名 竹林整備、クヌギ林下草刈り、SF準備、高島中央公園イベント支援
- ② 4月3日(土)晴 28名 竹林整備、SF準備、観桜会
- ③ 4月10日(土)晴 29名 竹林整備、SF準備
- ④ 4月17日(土)雨のち曇 29名 スプリングフェア。反省会(22名参加)
- ⑤ 4月18日(日)晴 26名
- ⑥ 各水曜日ほかに準活動日としてSF準備作業を実施



スプリングフェア。朝までの氷雨と低温、足元も悪く難渋しました(お客さまも)



スプリングフェア。例年はチューリップも終わりかけていることも多いのですが。やはり低温のせい？

2. 4月度運営会報告 -4月10日開催-

- ① 5月の作業打ち合わせ

3. 5月度活動予定

- ① 5月1日 竹林整備、クヌギ林管理作業、製材。同:大庭・赤羽・関根
- ② 5月8日 9号緑地間伐(現地10時集合)、炭小屋での作業、炭焼き(ドラム缶窯)
- ③ 5月15日 竹林整備、池の上下草刈り(日清オイリオ支援)、運営会・勉強会。同:吉田・玉木・大越
- ④ 5月22日 製材、クヌギ林管理作業、炭材詰め、炭小屋整理。同:武田・江崎・下谷
- ⑤ 5月29日 水曜日扱い(準活動日。炭小屋での作業主体)
- ⑥ 毎水曜日:準活動日

4. その他

- ① 4月4日に友の会総会が開催され、2019年までの長期目標と中期事業計画が提示されています。友の会プロジェクトであるZFCもこれに沿った活動を織り込んでいく必要があります。日清オイリオや横浜栄高校等のボランティア支援のみでなく、より積極的に受け入れる態勢作り(スキル・知識アップ等)をしていくことを検討していかなければなりません。総会での内容と安全細則に関して5月15日に勉強会を予定しています。

5. 編集後記

- ① 今月の巻頭コラムは会員になられて間もない加藤さんをお願いしました。ZFCのメンバーは何かの縁と本人の選択により集まっているメンバーですが、私を始め多くの方が当初加藤さんと同じ思いをされたと思います。初心忘れるべからずの精神で、常に新鮮な気持ちで真摯に取り組んでいきたいものです。

以上